

令和6年度

小・中学生フォーラム in 落合中学校



新宿区では、毎年、小・中学生と区長が意見を交換する「小・中学生フォーラム」を開催しています。このフォーラムは、子どもたちの意見を区の施策の参考にするとともに、子ども自身が新宿のまちに関心と愛着を持ち、区政に積極的に参加することを目的とするものです。

7月8日（月）、落合中学校（下落合2-24-6、校長：伊藤裕一）の3年A組39名、B組40名が「新宿区とSDGsの関連について考える。」をテーマに、吉住健一区長と意見交換をしました。

上記のテーマのもと、生徒たちは、2年生の時から総合学習で調査してきたことを活かして、どうしたら「10年後、魅力あふれる新宿区の姿」になるのかを考え、各グループの代表が発表しました。

プラスチックごみを材料に実際にキーホルダーを作成したり、フードロスなくするために余った食材でスープを作ったりするなど、SDGs達成に向けて生徒たち自身で実践した様々な取組が報告されました。また、生徒同士でバズセッションを行って意見を共有し、区長からの回答を受けて再質問をして、自身の考えを深めている様子が印象的でした。

区長は、個性あふれる発表に非常に感心していました。そして、生徒たちが提案した政策について、区における現在の取組も踏まえながら、どうしたら新宿がよりよくなるか、これからも引き続き考えていくと伝えました。

生徒たちは、自分の意見をしっかりと持って発言をし、時折白熱した議論につながるなど、SDGs達成のために自分ができることを考えていました。自分たちの身近なところからSDGs達成のための行動はできると気づくきっかけとなる、有意義なフォーラムとなりました。

